



発行：社会福祉法人 心聖会
 広報委員会
 発行責任者：吉村 優児
 URL <http://www.e-shinseikai.or.jp/>

(法人事務局)

〒276-0001

千葉県八千代市小池393

TEL 047(488)8222 FAX 047(488)8229

経 営 理 念

わたしたちは、利用者の幸せ、利用者の家族の幸せ、地域住民の幸せ、そして、これらを支えることを職員の幸せとして事業に取り組みます。

- ・障害のある人の人格と個性を尊重します。
- ・障害のある人が安心して豊かな地域生活を営めるよう支援します。
- ・障害のある人の喜びや悲しみを共感できる職員であることに努めます。



日頃より当法人各施設に対しまして、ご利用者の皆様をはじめ、ご家族、地域の皆様等、多くの方々に温かいご支援とご協力をいただき、心から御礼と感謝を申し上げます。この度、令和5年4月1日付けで市川施設長の後任として作山更生園の施設長に就任しました西澤と申します。今までは同法人の通所施設こいけ障害者支援センターに勤務しておりました。

これまでに多くのご利用者やご家族から色々なことを学ばせていただきました。先日、入所歴の長いご利用者のご家族とお話する機会がございました。「あの子は歯みがき終わったかな。もう寝たかな。って今でも思います。毎日です。毎夜です。」微笑み明るくお話しして下さいました。「今、歯みがきしてますよ、お母さん。」心のなかでそうお伝えしながら、お一人おひとりに、私たちはご利用者のご家族の想いを大切にした施設をこれからも目指していきたいと思っています。

法人理念である「わたしたちは、利用者の幸せ、利用者の家族の幸せ、地域住民の幸せ、そして、これらを支えることを職員の幸せとして事業に取り組みます。」の具現化に向けて職務に精励してまいります。皆様方にはご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。施設長就任のご挨拶とさせていただきます。

新任のご挨拶

作山更生園 施設長
 西澤昇太郎

新年度の抱負

小池更生園

生活支援員 原子 仁志



心聖会に入職して、9年目に入りました。

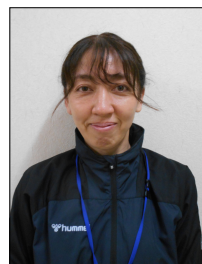
いつもお世話になってる皆さまには、この場をお借りして御礼申し上げます。

今年度の抱負として、「誠実な態度を持ち一歩ずつコツコツと努力すること」と掲げました。誠実な気持ちをもつ事は、ご利用者さんに対する支援は勿論のこと、一緒に働く仲間も大切にしなければ良い環境を構築出来ないと思います。

時には楽しいことばかりではなく、辛いことや困難な状況に陥ることもあるかと思いますが、立ち止まらず一歩一歩コツコツと努力する心が大事だと思います。今年度から未熟ながら、男性棟リーダーを務めることになりました。自ら率先して行動し、1日を大事にしていけるよう、職員の協力を得ながら、日々精進して参ります。

作山更生園

生活支援員 末吉 美和



今年度より、作山更生園へ異動となりました。小池更生園約8年、

こいけ障害者支援センターで約2年を準職員として務めました。未曾有のコロナ禍、3年間で正職員として更に気持ちを引き締めて職に就いて参りました。こいけ障害者支援センターでは、夜勤業務として、近隣にありますグループホームのこいけホームにおいて兼務を致しました。約13年という月日を感じさせないほど、時が早く過ぎ、かけがえのない時間を過ごすことができました。皆と共に笑い合い、コロナ禍の現状を共に苦しみ、その中でもできる限りの活動を探し続ける毎日でした。センター開所当初は、皆で意見を出し合い活動を模索し、毎日が学びの場でありました。作山更生園では、これまでの経験を活かして、新たな場所でも様々な発見と可能性を目指し、これからも精進して参ります。

こいけ障害者支援センター

生活支援員 川上理恵

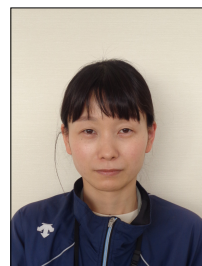


作山更生園からこいけ障害者支援センターへ異動となりました川

上理恵と申します。作山更生園での2年間、ご利用者、ご家族にご理解とご協力をいただき、周りの職員にも支えていただきながら働くことができたこと、大変ありがたく感じております。また、内・外部の研修に参加させていただき、多くの学ぶ機会を与えて下さいました心聖会に感謝申し上げます。支援員としてまだまだ未熟ですが、ご利用者に満足感や達成感を感じていただけるよう、ニーズに沿ったサービス提供ができる支援員を目指して参ります。また、ご家族の皆様にも安心していただける支援の実践ができる支援員となるために、更に多くの知識と技術を学んで参ります。新たな環境となりますが、1日でも早くご利用者やご家族、支援員の皆様と信頼関係が築けるよう一生懸命頑張ります。

こいけホーム

生活支援員 渡邊静香



この度、小池更生園からこいけホームへ異動となりました渡邊静

香と申します。小池更生園では、ご利用者の方々との関わりの中で、生活支援員として様々な事を学ばせて頂きました。ご利用者にとって生きがいを持ち、笑顔で健やかに過ごして頂けるような生活を提供していくことを、目標に掲げて業務に努めて参りました。今後は、こいけホームへ異動となり環境も新しくなりますが、この目標を継続して取り組んでいきます。ご利用者にとって「安心」して「帰る場所」である、こいけホームにて、他事業所と連携を取りつつ、包括的な支援を行い、自分が持っている知識や経験を最大限に発揮していきたいと思っております。未熟で至らない事も多くご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、日々まい進して安心と笑顔をご利用者に提供できるよう努めていきます。

小池更生園便り

災害への備え



非常用自家発電機設置しました

心聖会では災害への備えとして、2年前に非常食等の備蓄倉庫を建設し、その後も社会福祉充実計画に基づき災害対策事業を進めてきましたが、この3月14日、小池更生園において非常用自家発電機の設置が完了しました。

設置した非常用自家発電機は、居室や食堂など、災害時に使用するものが想定されるエリアの空調と照明を3日間稼働させる性能を有しています。

2019年、千葉県を中心に甚大な被害をもたらした台風15

号では、停電が長期化したことにより、熱中症が原因で亡くなった方もいたとのことで、多くのご利用者が生活している施設として、「災害時の電源確保」という最大の課題をクリアできたことは、災害対策の強化を進めるうえで、大きな一歩になったのではないかと思います。

また、小池更生園は、八千代市より福祉避難所の指定を受けており、災害発生時には一般避難所での避難生活が困難な障がい者等の要配慮者を受け入れ、避難生活を支えていくこととなります。

非常用自家発電機が実際に使われる日が来ないことを祈るばかりですが、災害発生時には福祉避難所の役割を果たし、地域貢献できればと考えております。災害対策については、「これで完璧」という最終地点はなく、常に改善点を把握し、その強化を進めて行かなくてはなりません。「福祉施設としてご利用者の命を守る」として、「福祉避難所」として地域の皆様の命を守る」とこの2つの責務を果たせるよう、常に防災意識を持ちながら、今後も災害対策に取り組んでいきたいと思っております。

土ヨレク始動

小池更生園では、月の日数から8日間を引いた日数が、生活介護の開所日となっています。祝日がある月は、土曜日まで休みがない週もでてきます。昨今の働き改革といった職場環境を見つめ直す動きもあり。ご利用者の高齢化が進む中、それではないかと声が上ががり、作業活動を見直す事としました。

令和4年度11月より、週末にご利用者1人ひとりに娯楽・楽しむ機会、作業で疲れた身体を一休みして頂ける日、同時に心に刻める思い出作りの場にしようという検討を重ね、週6日連続開所日の土曜日にはレクリエーションを取り入れることとしました。名称は、いくつか候補があがりましたが、ご利用者に分かりやすく、親しみやすい名前が良いという意見から、「土曜日レクリエーション」、通称「土(ト)ヨレク」となりました。実施内容は、室内レと屋外の2つのカテゴリーに分け、1つ目の室内では主に映画鑑賞やリトミック・ダンス等、室内で楽しめる活動を提供。2つ目の屋外では主に外歩行や園庭でのボール運動、

日光浴等といった屋外で楽しめる活動を提供しています。

1月末の土ヨレクでは、鬼のお面を被った職員に対して、手作りの豆をまくという季節の催し物を行なう事が出来ました。

雨を撒く、鬼に扮したご利用者が一緒になって「鬼は外、福は内」と声を張り上げながら、笑みをこぼしていました。今後も、節分といった日本の季節の催し物やご利用者の希望や意見を土ヨレクの内容に取り入れていき、活動を通して、ご利用者1人ひとりにとって、楽しく、リフレッシュが出来、同時に心に刻める思い出作りの場を提供していきたいと思っております。



やっぱりイベントごとは皆さん笑顔です

作山更生園便り

く久しぶりの外出！お食事会く

2月22日作山更生園では久しぶりに、ご利用者一堂に会しての昼食会を実施しました。

近年はコロナウイルスの流行に伴い、施設全体での外出がなかなか実施できない状況が続いていましたが、感染状況が落ち着いてきたこともあり、数年ぶりに、全員で外食することができました。

ご利用者の皆さん、数日前からとても楽しみにされていて、会場に移動するマイクロバスの車内ではこれから食べる食事内容にご利用者同士の会話を弾ませ、和気あいあいとした雰囲気でお店に向かいました。



待ちに待った外食です！



ボリュームも満点でした！

久しぶりのみづのコース料理！

会場となった和食料理店は個室席ということもあり、とても落ち着いた雰囲気での昼食会となりました。

食事会のメニューはお刺身や焼き魚などコース料理を用意しました。普段の給食では召し上がる機会の少ない鍋料理は好評をいただき、一番人気の料理となっていました。

今回の昼食会は、感染状況など、様々な制約がある中での実施となりましたが、参加したご利用者の方からは、「おいしかった」「楽しかった」などの感想が聞くことができ、少しでもご利用者の皆様に楽しんでいただけたことを嬉しく思います。今年度の経験と反省を生かして、次年度もより楽しい一時となる外出を企画したいと思います。

くホースセラピーご存知ですか？く

作山更生園では動物との触れ合いを通じた支援を3月より取り組み始めています。

高度な情緒水準を持つ馬による「ホースセラピー」は乗馬療法とも呼ばれ、海外では障がい者のリハビリテーションとしてすでに定着し、公的保険が適用される国もあるそうです。

正式名称は「ホース・アシストテッドセラピー」乗馬や馬の飼育、飼養の管理、既舎の掃除や馬の観察を通じて障害者の精神と運動機能を向上させて社会復帰を助けることを目的に取り組みます。身体的な機能の回復や成長だけではなく、メンタルヘルスなどにも馬の力を活用した癒しの時間となっています。



馬とのふれあいを楽しみました。



見晴らしもよく、開放的です。

く馬とのふれあいでもく

実際に馬に乗って、馬の背中から見える広くて高い視点や、馬の歩行による自然なゆらぎが心に安定をもたらしてくれます。馬の背中のはあたたくて、馬の歩きに合わせた振動も心地よく、手触り、匂いなど日頃使わない五感をフルに使って、リラックスタイムを体験することができそうです。屋外の開放的な場所で行うから、心身もオープンになって自分らしさを取り戻せそうですね。知らないうちにすり減っている心のエネルギーも補充できるのではないのでしょうか。

そんな癒やしの時間を過ごしてみたいと思われた方はお気軽に作山職員までお尋ね下さい♪精神面と共に肉体面の改善を目指されている方におススメいたします。

こいけ障害者 支援センター便り

新旧融合

3年ぶりに「北総花の丘公園」に行き、お花見をしてきました。久しぶりの外出を謳歌すると同時に、満開の桜に癒されました。ご利用者も職員も、新年度のやる気に繋がったと思います。

令和5年度は、当事業所の基本方針に新たに記載された「安心安全で居心地の良い身近な福祉拠点」「ご利用者の気持ちに寄り添う支援」「よりよいチー



3/27 満開の桜の下で記念撮影

ムワークを醸成しサービスの質の向上を目指す」という3つのキーワードと、これまでの基本方針を併せ、事業に取り組んでいきます。

活動は4チーム体制になりました。昨年度までの作業をベースに、新しい取り組みと、コロナ禍以前の取り組みを融合したものにしていきます。「おやつ作り」では、ご利用者と職員の協同作業で様々なおやつやスイーツを楽しみながら作り、ティールタイムにご利用者みなで頂きます。「アート活動」では、地域で活動しているアーティストの方にお手伝いしていただき、一緒に制作活動をしていきます。本物のアートに触れる機会を作ること、創作意欲の向上や作品作りのヒントになり、ご利用者が新たな才能を開花できるような取り組みをしていきたいと思っています。

これから新しい活動を随時取り入れ、これまで積み上げてきたものと、新しいものを融合して、ご利用者が笑顔で通所できる事業所を作り上げて行きます。

こいけホーム便り

マスクの着用が緩和されるなど、コロナウイルスとも共存できる兆しが見えてきたように思えます。こいけホームでも、行事や外出など、ご利用者が楽しめる活動を増やしてきました。

豆まき

2月には豆まきを行いました。

こいけホームの庭で、鬼に扮した支援員に対して豆を撒く！そしてその後は福は内！皆さんやる気いっぱいめでまいており、気持ちのこもった豆に当たった支援員は、思わず涙しておりました。おやつには甘納豆を食べ、皆さん笑顔で満足そうでした。



全力で・・・鬼は外！！

3月にお花見へ行ってきました。皆さんでマイクロバスに乗って、小林牧場へ。まだ満開とはいきませんが、少しは咲いている状況。「綺麗だなあ」「今年は結構咲いているね！」「今年は結構咲いている声がかれました。楽しんでる声が聴かれました。桜を楽しんだ後はコンビニへ行き、昼食とおやつを購入しました。お弁当、おにぎり、パンにチョコレートなどそれぞれが好きな物を買っていました。雑誌を購入する方もおり、お花見の後の買い物皆さん、思い思いに楽しんでおられました。

令和5年度も、コロナウイルスに負けずに、楽しい毎日を過ごせるような支援をしていきます。

お花見



今年も車内から・・・桜♪

法人だより

新任職員紹介

- ①名前②出身地③好きな言葉
④ひとこと

小池更生園



- ①豊田 吉宜
(とよだ よしのぶ)
②東京都江東区
③継続は力なり
④よろしくお願いいたします



- ①鈴木 樹奈
(すずき じゅな)
②千葉県印旛郡栄町
③好きこそものの上手なれ
④ たくさんのことを楽しんで学ぶ姿勢を忘れずに取り組んで参ります



- ①石井 彩花
(いしい あやか)
②千葉県旭市
③七転八起
④日々学び成長していけるよう努めてまいります

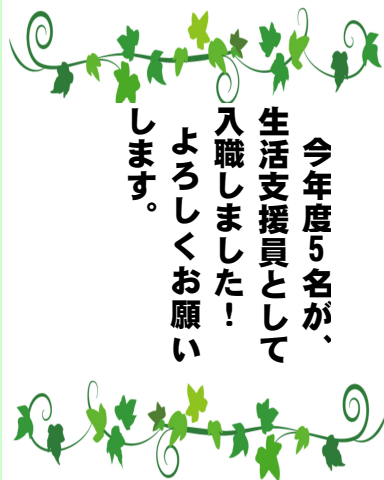


- ①漆畑 麗南
(うるしばた れな)
②静岡県富士宮市
③七転び八起き
④感謝を忘れずに精一杯努めてまいります



- ①佐藤 仁美
(さとう ひとみ)
②千葉県柏市
③一生懸命
④笑顔で頑張ります

作山更生園



今年度5名が、
生活支援員として
入職しました！
よろしくお願
い
します。

異動のお知らせ

〈小池更生園〉

亀田 貴弘(前・作山更生園)

〈作山更生園〉

高城一也(前・小池更生園)
末吉美和(前・小池障害者支援センター)

〈こいけ障害者支援センター〉
川上理恵(前・作山更生園)

〈こいけホーム〉

渡邊静香(前・小池更生園)
中村はるか(前・こいけ障害者支援センター)

こいけ味噌販売のお知らせ

いつもこいけ味噌をご愛顧くださり誠にありがとうございます。新型コロナウイルスの5類への移行に伴い、バザーへの出店を再開しようとして動いているところです。第9波がこないことを祈りつつ、皆様にお会いできる日をご利用者と一緒に、心待ちにしております。

編集後記

乾燥肌の私にとってはまだまだ気が抜けない今日この頃です。話は変わりますが編集後記を書いている現在ではワールドベースポールクラシック(WBC)が開催され世界各国で大いに盛り上がりを見せています。世界の二刀流・大谷翔平選手を筆頭に、日本を代表する豪華な選手陣が日の丸を背負って戦う姿に、私を含め多くの人々が心を熱くしたのではないのでしょうか。

そんな中、新型コロナウイルスの影響で活動を休止していた心聖会野球部が、約3年ぶりに活動を再開しました。同じ心聖会の仲間でも、施設、事業所が違えばあまり関わりを持つ事ができません。ですが部活動を通して多くの職員と関わる機会があることで職員の心も豊かになり、それはご利用者支援にも大いに生きてくるのだと私は思います。

最後になりますが、皆さま、ここから始まる心聖会野球部の活躍に乞うご期待ください！